

新たな取り組みと
伝統文化と

変化し受け継がれていくもの

朝顔でつながる

6月2日に水戸芸術館と水戸京成百貨店の外壁に朝顔の苗植えが行われました。

ご存知の方も多いかと思いますが、これは日比野克彦氏が2003年に新潟県十日町市筋平(あざみひら)で廃校になった校舎を利用し、住民との交流をした「明後日朝顔プロジェクト」の一環です。

水戸には2005年の同氏による「EBINO EXPO-一人万博」の際に、筋平の住民を水戸に迎え、苗植えしたのが始まりでした。

現在ではその活動は全国に広まり、北は秋田県の大館市から南は沖縄まで25の地域が参加しています。

交流から生まれたエコ

先日、気象庁より8月の1ヶ月気象予報が発表されました。それによると、8月も真夏日・猛暑日が続くそう、とのことでした。

震災以降、原子力発電所の運転停止や電力不足もあいまつて、政府も企業も、そして私たち市民も皆が節電を心がけていると思います。

明後日朝顔プロジェクトは地域住民との交流という新たな取り組みでしたが、今ではグリーンカーテンによる遮熱効果の方に注目が集まり、また、その成果をあげているのかと思います。

実は私の自宅の庭先でも、猛暑の中、ロープに吊られた朝顔が日々すくすくと成長しています。グリーンカーテンと呼ぶにはまだまだですが、それでも少しは節電につながっていると思います。

朝顔の成長には朝夕の水やりがとて大切で。震災以降、我が家では使っていない井戸を復活させました。朝顔だけでなく、植木の水やりや、果物を冷やすのに使ったり、さらには洗車にまで。昔から受け継がれてきた井戸がここに来て大活躍です。

変わりゆく風情

日本の夏の風物詩と言えば浴衣ですね。私も幼少期には、浴衣を着せてもらって夏祭りや花火大会など、あちこちに連れて行ってもらった覚えがあります。

浴衣は平安時代、貴族が蒸

し風呂に入るとき、水蒸気でやけどしないように着た「湯帷子(ゆかたびら)」がはじまりとされています。また藍染の浴衣は、藍の成分を虫が嫌うことから虫除けの効果があり、夕方から夜にかけて(まさにお祭りや花火大会)の外出に重宝されていたようです。若い女性に人気があったので、もしかすると別の虫除けを願った親心もあるのかもしれません。笑

近年の浴衣は着付けいらずでワンタッチ！裾丈は超ミニ、袖も半分、色はカラフルなどバラエティーに富んでいます。「あれじゃ風情が…」なんて批判の声もチラホラ聞きますがそれはそれで新しい価値観なのかもしれません。なにより浴衣を着て、おしゃれをして出かけたという乙女心は昔も今も、変わることはないでしょう。

文化の変遷と人の心

ダーウィンの「最も変化に敏感なものが生き残る」という有名な言葉がありますが、伝統文化も時代とともに変化することで、永く継承されるものなのかもしれません。

大切なのは季節の移ろいを感じて「愉しむ」という私たちの「心」が失われないことではないでしょうか。

(教育事業部 細谷絵理)



029(233)6143

www.lilyacademia.com

一人ひとりの学ぶ力が伸びる、毎日が楽しい学習塾！
LA リリーアカデミア
Lily Academia

塾生募集

- ・信頼と実績、リリーグループの学習塾
- ・パソコンだから実現できる、「わかりやすい」「楽しい」自立学習システム
- ・無料体験レッスン随時開催中!

